平成２１年度
福島町まちづくり推進会議
第２回会議

◇と　き　：　平成２１年１０月３０日（金）午後６時から

◇ところ　：　福島町役場　健康づくり研修室（２階）

次　　第

１．開　　会
２．委員長挨拶
３．町 長 挨 拶
４．案　　件
　（１）　各専門部会報告書の確認と検討・・・・・・・・・・・・・別紙、資料１
　（２）　健全な財政運営について（歳入の確保）・・・・・・・・・Ｐ２～３
　　（ア）　町　税
　　（イ）　使用料等
　　（ウ）　ふるさと応援基金
　（３）　近隣自治体との広域連携について・・・・・・・・・・・・Ｐ４
　　（ア）　広域行政の検討
　（４）　健全な財政運営について（歳入の確保）・・・・・・・・・Ｐ５
　　（ア）　歳入の効果
　　（イ）　事務事業等の効果
　（５）　福島町まちづくり基本条例に基づく「提言」又は「提案」について・・・Ｐ６
５．情報提供について
　（１）　新たな親善友好提携について・・・・・・・・・・・・・・別　紙
６．次回の会議日程について
　　月　　日（　　）　　時から
７．そ　の　他
８．閉　　会

案件（１）　各専門部会報告書の確認と検討について

― メ　モ ― 別紙、資料１

案件（２）　健全な財政運営について

１　歳入の確保について

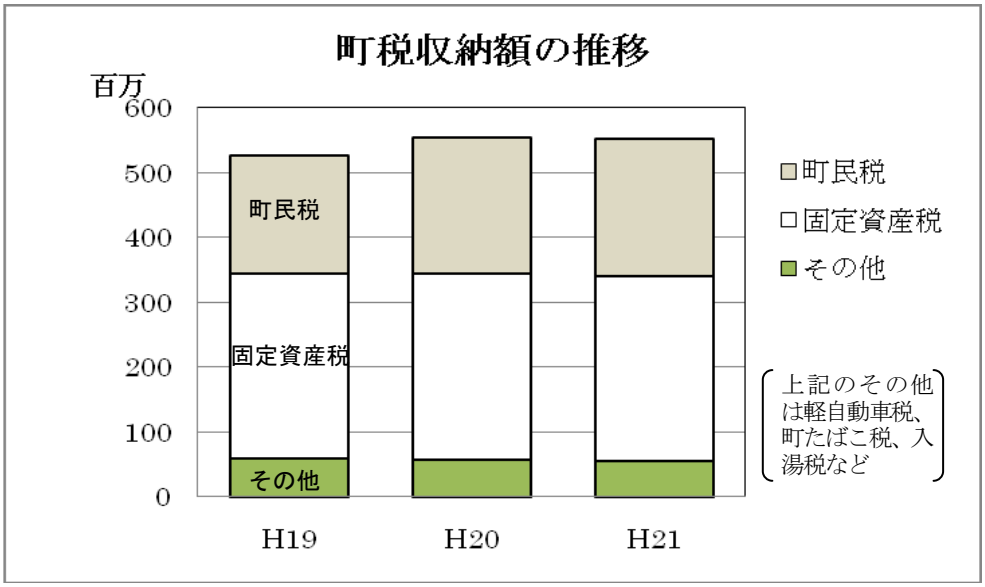
（１）町税について

貴重な自主財源であります町税については、長引く景気の低迷と過疎化の進行で納税義務者の減少が続いており、増収は見込めない状況にあります。

平成１９年度には税制の改正により、町民税の税率フラット化で一時的に増収となったものの、今後においては経済不況の影響から所得の落ち込みや家屋の新築等の減少によって、減収傾向は続くものと想定されます。

近年、町税の収納率には大きな改善は見られないものの、平成２０年度からは全職員に徴収吏員として発令をし、夜間等における臨戸徴収体制の強化を図っており、その効果も徐々にではありますが現れています。

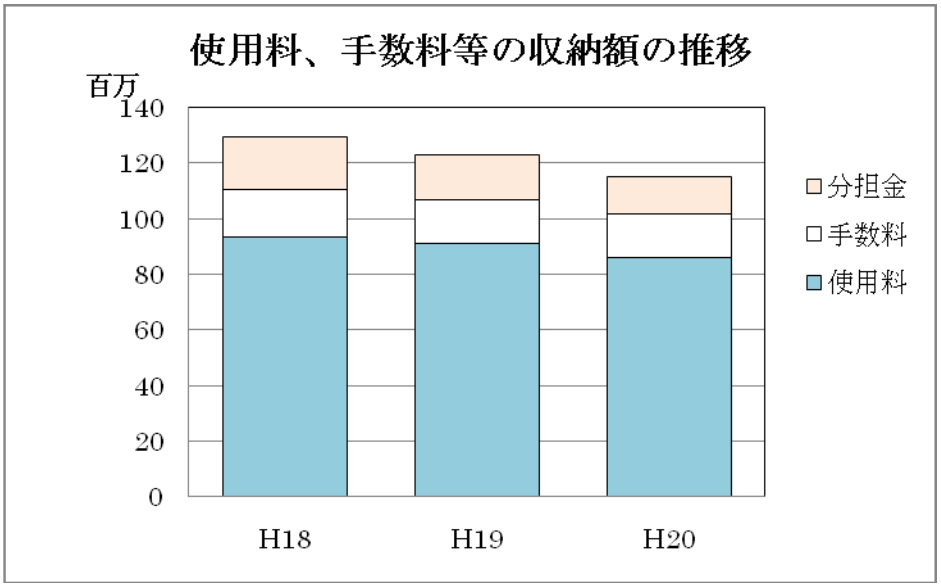
しかし、一方では、これまでの滞納繰越額は、国民健康保険税を含めて１億６，７００万円を超える金額となっており、今後の庁舎内における徴収体制の強化はもちろんでありますが、徴収事務を委託しております渡島・檜山地方税滞納整理機構とも連携をしながら、より厳しい対応をしながら、滞納額の圧縮に努めていくことが重要な課題であります。



（２）使用料等について

各種の使用料等については、自立プラン策定時に船揚場や保育料等について見直しをし、現在に至っています。

今後は、自立プランで先送りした粗大ごみの有料化や、保育料や町営住宅使用料等において滞納額が多く見られることから、町税同様に負担の公平性からも滞納額の圧縮に努めていくことが課題であります。



（３）「福島町ふるさと応援基金」の寄付状況について

「福島町ふるさと応援基金条例」を平成１８年度に制定し、町内外を問わず、福島町を愛する方々から基金を募って、まちづくりのための財源に充てるべく、関東方面で活躍する福島町出身者の「北海道福島会」をはじめ札幌市や周辺で活躍されている方々の「札幌福島会」など、全国に発信してまちづくりへの参加と応援をお願いしており、今後も積極的に取組んで参ります。

◎　ふるさと応援基金の寄付状況

【Ｈ２１.８.３１現在】　（単位：件、円）

区分	産業	生活福祉	人材育成	コミュニティ	指定なし	計
町　内	1	4	3	1	16	25
	50,000	850,305	150,000	10,000	2,507,052	3,567,357
町　外	10	11	8	3	57	89
	180,000	1,465,000	255,000	210,000	4,696,000	6,806,000
小　計①	11	15	11	4	73	114
	230,000	2,315,305	405,000	220,000	7,203,052	10,373,357
指定変更額	213,000	0	0	297,000	-510,000	－
寄付金合計額	443,000	2,315,305	405,000	517,000	6,693,052	10,373,357
使ったお金②	179,000	0	140,000	396,000	0	715,000
①　－　②	264,000	2,315,305	265,000	121,000	6,693,052	9,658,357

※上段（　）は件数、下段は金額。なお、実人数は９８人。

◎　近隣自治体との広域連携について

（ア）　　広域行政の積極的検討

全ての市町村に共通する事務の中に、国民健康保険や老人保健、介護保険等の医療・福祉を中心とした事務があり、同じ内容の事務をそれぞれの市町村で独自に事務処理を行っています。

これらを複数の町で共同処理をすることによって、住民の利便性の向上や効率化を図ることができないか、という検討の必要があります。

なお、「定住自立圏構想」は、平成２０年１２月に要綱が公表されました。

事務概要は、中心市と周辺自治体が共同でまちづくりに取り組む事業内容となっており、現在、函館市が中心になり、渡島管内の各市町と取組み可能な施策などの事務的な検討が進められているところですが、具体的な施策や枠組み方向付けなど時間を要する状況にあり、この度の政権交代によって、１０月１６日に総務省より補正執行停止の発表がなされ、大幅に補助対象が限定されるなど不透明な部分もあることから、今後の動向を注視し協議をしてまいります。

また、広域的な利用を検討していた火葬場や学校給食センターの整備及び国民健康保険、介護保険等の医療福祉を中心とした事務の共同処理については、近隣町と検討を進めてまいりましたが、当面、共同化が困難との結論となったところであります。

今後も、事務の共同化については広域的に共通課題となる事項がある場合で、共同処理により効率化が図られるものについては、積極的にその可能性を模索するもりであります。

（イ）　国や北海道による補完について

国道や道々、河川や漁港の整備及び維持は、町民生活の根幹をなすものであり、これなくしては経済の安定や災害の防除、そして包括的には福祉の維持向上はできません。

さらに、地方交付税をはじめとする国や道の支出金は、町の収入の大きな部分を占めており、地方分権を進め、町の独自性を発揮するためにも、国や道に対し、財源確保に向けて要望を強化してまいります。

案件（４）　各特別対策の財政効果額ついて

（１）　歳入の効果

（単位：千円）

区　　分	H22	H23	H24	H25	H26	計
ふるさと応援基金収入	0	0	0	0	0	0
保育所保育料の国並み改正	0	0	0	0	0	0
船揚場使用料の新設	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

（２）　事務事業費等の効果

（ア）事務事業、施設運営、補助金

（単位：千円）

区　　分	H22	H23	H24	H25	H26	計
事務事業	380	380	380	380	380	1,900
公共施設運営	0	0	0	0	0	0
補助金	0	0	0	0	0	0
計	380	380	380	380	380	1,900

（３）　効果額の合計

（ア）歳入効果額

（単位：千円）

区　　分	H22	H23	H24	H25	H26	計
歳入効果額	0	0	0	0	0	0
事務事業費等の効果額	380	380	380	380	380	1,900
合　　計	380	380	380	380	380	1,900

案件（５）　福島町まちづくり基本条例に基づく「提言」又は「提案」について

参画及び協働

第７条　町民は、まちづくりや町の重要な施策及び計画の策定に関する提言又は提案を行うことができます。

２　町民と町は、協働のまちづくりを推進するに当たっては、目的意識の共有に努めます。

― メ　モ ―

資料　1

各専門部会報告書

福島町まちづくり推進会議委員会
総　務　教　育　部　会　報　告　書

平成２１年１０月３０日

福島町まちづくり推進会議委員会　様

福島町まちづくり推進会議委員会
総務教育部会長　　木　村　末　正

福島町行財政推進プラン（後期：２２年度～２６年度）における、町財政の健全化のため、現在の事務事業、公共施設の維持運営、団体等への補助金等のあり方を含めて検討を重ね、それぞれの項目ごとに導かれた検討結果を、次のとおり取りまとめましたので報告します。

記

１．検討結果等　　別紙のとおり

福島町まちづくり推進会議総務教育部会報告書

福島町まちづくり行財政推進プラン（平成 22 年度～平成 26 年度）における新たな行財政計画の策定にあたっては、現状の事務事業、公共施設の維持運営、団体等への補助金等それぞれを１項目ごとに費用対効果や今後の方向性等について検討を重ねてまいりました検討結果は次のとおりであります。

記

１、専門部会の開催経過について

開催回数・年月日	内　　容　・　出席人数
第１回（平成 21 年 5 月 27 日）	事務事業、公共施設の管理運営等の方向性等を検討（5 名出席）
第２回（平成 21 年 6 月 24 日）	事務事業、公共施設の管理運営等の方向性等を検討（8 名出席）
第３回（平成 21 年 7 月 8 日）	事務事業、公共施設の管理運営等の方向性等を検討（5 名出席）
第４回（平成 21 年 9 月 7 日）	事務事業、公共施設の管理運営等の方向性等を検討（6 名出席） した結果報告書の確認

２、事務事業、施設運営、補助金等について

それぞれ１項目ごとに、その方向性を「廃止」「現状維持」「拡大」「再検討」の区分に整理し、専門部会からの意見を付記しましたが、総体的には各項目とも現状維持が妥当との意見でありましたので、各項目における年度別増減額については後段に記載しておりますので参照ください。

● **廃止と方向付けたもの**

整理No.	項　　目	コメント	備考
2 施設管理	福島生活改善センター	後期総合開発計画に登載しており、解体を計画しておりますが、地域町内会等と協議のうえ、計画を検討すべきである。	

● **現状維持と方向付けたもの（事務事業）**

整理No.	項　　目	コメント	備考
6	連絡員制度	自立プランに引続き、当面は現状維持とする。	
7	新年交礼会	開催期日も含めて、民間と合同で開催する方法を検討すめ。	
8	広報誌発行	自立プランで部数削減しており、当面は現状維持とする。	
9	防災体制整備事業	ハザードマップを後期総合開発計画に登載し事業計画していますが、その他の事業については、当面は現状維持とする。	

整理No.	項　　目	コメント	備考
10	交通安全推進員体制	当面は現状維持とする。	
11	バス待合所管理事業	当面は現状維持とする。	
44	ＡＥＴ（英語指導助手）招致事業	指導助手のスケジュールが過密なため、諸行事と効果的な連携が出来るように調整を図る。	
45	遠距離通学生輸送業務	学校統合を見越したスクールバス等の通学体系の再考を図る。	
46	教育活動バス管理運行業務	業務は民間委託しているが、学校用務員での公用車運転業務の運行を図る必要がある。	
47	学校行事等車輌借上	公用車を利用拡大し、経費節減を図る	
48	就学援助事業（要保護・準要保護）	当面は現状維持とする。	
49	就園奨励事業（幼稚園分）	当面は現状維持とする。	
50	各学校夜警業務	当面は現状維持とする。	
51	各学校除雪業務	当面は現状維持とする。	
52	学校開放事業	当面は現状維持とする。	
53	巡回劇場事業	当面は現状維持とする。	
54	成人式行事	当面は現状維持とする。	
55	社会教育学級、講座	当面は現状維持とする。	
56	スポーツ文化賞表彰	当面は現状維持とする。	
58	青少年の主張大会	当面は現状維持とする。	
59	高齢者学級	当面は現状維持とする。	
60	ブックスタート事業	当面は現状維持とする。	
61	図書館運営事業	当面は現状維持とする。	
62	町民体育祭	当面は現状維持とする。	
63	各種大会派遣事業	当面は現状維持とする。	
64	各種スポーツ教室・大会	当面は現状維持とする。	

●　現状維持と方向付けたもの（施設管理）

整理No.	項　　目	コメント	備考
1	役場庁舎管理事業	当面は現状維持とする。	
3	吉岡生活改善センター	施設使用可能である限り使用をする。	
4	岩部生活改善センター	地域の防災拠点施設であり、災害対策等の施設として必要不可欠である。	
5	生活館等管理事業及び会館の統廃合	地域の人口規模・施設の老朽化等による維持管理状況を判断しながら、町で整理し、町内会に方向性を示し、統廃合について検討する。	

整理No.	項　　目	コメント	備考
20	吉岡幼稚園運営事業	当面は継続し、福島保育所における認定こども園の設置など、諸問題の解決や園児数の推移を見ながら統廃合に向けた検討をする。	
21	福祉センター運営事業	当面は現状維持とする。	
22	町民プール運営事業	利用者負担の軽減を検討して頂き利用者の増を図ると伴に、子供達の安全確保にプールフロアの増設をされたい。	
23	総合体育館運営事業	管理運営は現状維持とするが、委託料の縮減に努める。	
24	ファミリースポーツ公園管理事業	当面は現状維持とする。	
25	学校給食センター運営事業	施設の老朽化で後期実施計画に建替えを登載しているが、生徒数等を考慮するなどして検討する。その間は現行どおりとする。	

●　現状維持と方向付けたもの（補助金等）

整理No.	項　　目	コメント	備考
1	町内会連合会運営補助金	当面は現状維持とする。	
2	交通安全運動推進協議会助成金	当面は現状維持とする。	
3	コミュニティ運動推進協議会補助金	当面は現状維持とする。	
4	産業活性化サポート事業補助金	事業の必要性を広く町民から理解が得られるようにし、より有効活用ができるように運用規定を精査検討する。	
19	教育関係団体等助成金	当面は現状維持とする。	
20	中体連参加助成金	当面は現状維持とする。	
21	小学校体育連盟助成金	当面は現状維持とする。	
22	函館地区吹奏楽コンクール参加助成金	当面は現状維持とする。	
23	各種大会参加助成金	当面は現状維持とする。	
24	福島商業高等学校新規入学者奨励金	現状を維持するも、学校存続検討委員会の検討結果を注視しながら対応を図る。	
25	福島商業高等学校通学定期補助金	学校存続検討委員会の検討結果を注視する。	
26	友好町村交流事業助成金	当面は現状維持とする。	
27	福島町就学指導委員会助成金	当面は現状維持とする。	
28	渡島地区予選会助成金	当面は現状維持とする。	
29	私立幼稚園管理運営費補助金	当面は現状維持とする。	
31	町ＰＴＡ連合会助成金	当面は現状維持とする。	
32	町文化団体協議会助成金	当面は現状維持とする。	

整理No.	項　　目	コメント	備考
33	町子ども会育成連絡協議会助成金	組織体系を検討し、参加しやすい状況を図る。	
34	文化祭実行委員会助成金	出展者の高齢化もあり、イベントとして縮小傾向に思えるので、内容を検討し必要であれば増額を検討する。	
35	成人式実行委員会助成金	当面は現状維持とする。	
36	【町指定文化財】 松前神楽保存会助成金	当面は現状維持とする。	
38	【町指定文化財】 白符荒馬踊保存会助成金	当面は現状維持とする。	
39	町体育指導委員協議会助成金	当面は現状維持とする。	
40	町体育協会助成金	当面は現状維持とする。	
41	町少年体育連盟助成金	当面は現状維持とする。	
42	南北海道駅伝競走大会助成金	当面は現状維持とする。	

●　拡大と方向付けたもの

整理No.	項　　目	コメント	備考
57 （事務事業）	読書感想文・画コンクール	作品の冊子に伴う印刷代を増額し、活動の強化を検討すべきである。	

●　再検討と方向付けたもの

整理No.	項　　目	コメント	備考
1 （事務事業）	人件費全般（特別職～三役）	人件費に係る項目については、他の事業にも波及する項目なので各検討事項が終わり次第、関係機関等の協議状況を注視しながら検討する必要がある。	
2	人件費全般（議員報酬・手当	議会基本条例により議会で検討すべき。	
3	人件費全般（非常勤特別職）	会議の回数の減、委員会の統廃合により減額を検討すべきである。	
4	人件費全般（一般職）	他の事業による町民負担等との整合性も加味し、独自削減を無くするか又は現在の削減率を少なくする方向とする。	
5	常備・非常備消防体制維持	町の一般職と連動した方向とする。	

☆検討経過と年度別増減額について

◎21年度予算　（千円）

事務事業	公共施設	補助金等	計	年度別増減額 H22	H23	H24	H25	H26
998,846	99,786	9,300	1,107,932	456	456	456	456	456

○事務事業一覧表

NO.	事務事業名	平成21年度(千円) 予算額	年度別増減額 H22	H23	H24	H25	H26	備　考
1	人件費全般（特別職～三役）	40,835	0	0	0	0	0	全体会議で再検討
2	人件費全般（議員報酬・手当）	30,509	0	0	0	0	0	議会基本条例等により議会で検討
3	人件費全般（非常勤特別職）	11,358	0	0	0	0	0	会議の回数の減、委員会の統合をするなど減らす検討をすべきである。
4	人件費全般（一般職）	631,649	0	0	0	0	0	他の事業による町民負担との整合性も加味し、独自削減をなくするか、又は、現在の削減率を少なくする方向とする。
5	常備・非常備消防体制維持	254,140	0	0	0	0	0	町の一般職と連動した方向で
6	連絡員制度	2,665	0	0	0	0	0	当面は現状維持とする。
7	新年交礼会	30	0	0	0	0	0	開催期日も含めて検討
8	広報誌発行	1,266	0	0	0	0	0	当面は現状維持とする。
9	防災体制整備事業	2,112	0	0	0	0	0	〃
10	交通安全推進員体制	1,889	0	0	0	0	0	〃
11	バス待合所管理事業	1,656	0	0	0	0	0	〃
44	ＡＥＴ（英語指導助手）招致事業	5,072	0	0	0	0	0	〃
45	遠距離通学生輸送業務	658	0	0	0	0	0	〃
46	教育活動バス管理運行業務	456	0	0	0	0	0	〃
47	学校行事等車輌借上	578	0	0	0	0	0	〃
48	就学援助事業（要保護・準要保護）	4,649	0	0	0	0	0	〃
49	就園奨励事業（幼稚園分）	1,232	0	0	0	0	0	〃
50	各学校夜警業務	1,790	0	0	0	0	0	〃
51	各学校除雪業務	1,671	0	0	0	0	0	〃
52	学校開放事業	75	0	0	0	0	0	〃
53	巡回劇場事業	384	0	0	0	0	0	〃
54	成人式行事	120	0	0	0	0	0	〃
55	社会教育学級、講座	345	0	0	0	0	0	〃
56	スポーツ文化賞表彰	60	0	0	0	0	0	〃
57	読書感想文・画コンクール	76	456	456	456	456	456	印刷代の増額を検討する。
58	青少年の主張大会	23	0	0	0	0	0	当面は現状維持とする。
59	高齢者学級	160	0	0	0	0	0	〃
60	ブックスタート事業	70	0	0	0	0	0	〃
61	図書館運営事業	3,099	0	0	0	0	0	〃
62	町民体育祭	60	0	0	0	0	0	〃
63	各種大会派遣事業	30	0	0	0	0	0	〃
64	各種スポーツ教室・大会	129	0	0	0	0	0	〃
	計	998,846	456	456	456	456	456	

○公共施設等の管理運営事業一覧表

		平成21年度(千円)	年度別増減額					
NO.	事務事業名	予算額	H22	H23	H24	H25	H26	備　考
1	役場庁舎管理事業	12,653	0	0	0	0	0	当面は現状維持とする。
2	福島生活改善センター	0	0	0	0	0	0	廃止とするも、地域町内会等と協議のうえ、計画を検討すべきである。
3	吉岡生活改善センター	632	0	0	0	0	0	当面は現状維持とする。
4	岩部生活改善センター	415	0	0	0	0	0	〃
5	生活館等管理事業及び会館の統廃合	1,279	0	0	0	0	0	〃
20	吉岡幼稚園運営事業	20,866	0	0	0	0	0	〃
21	福祉センター運営事業	14,828	0	0	0	0	0	〃
22	町民プール運営事業	7,740	0	0	0	0	0	〃
23	総合体育館運営事業	10,111	0	0	0	0	0	〃
24	ファミリースポーツ公園管理事業	5,372	0	0	0	0	0	〃
25	学校給食センター運営事業	25,890	0	0	0	0	0	〃
	計	99,786	0	0	0	0	0	

○各団体の補助金・助成金一覧表

		平成21年度(千円)	年度別増減額					
NO.	事務事業名	予算額	H22	H23	H24	H25	H26	備　考
1	町内会連合会運営補助金	315	0	0	0	0	0	当面は現状維持とする。
2	交通安全運動推進協議会助成金	387	0	0	0	0	0	〃
3	コミュニティ運動推進協議会補助金	45	0	0	0	0	0	〃
4	産業活性化サポート事業補助金	300	0	0	0	0	0	〃
19	教育関係団体等助成金	1,210	0	0	0	0	0	〃
20	中体連参加助成金	500	0	0	0	0	0	〃
21	小学校体育連盟助成金	100	0	0	0	0	0	〃
22	函館地区吹奏楽コンクール参加助成金	80	0	0	0	0	0	〃
23	各種大会参加助成金	1,000	0	0	0	0	0	〃
24	福島商業高等学校新規入学者奨励金	1,200	0	0	0	0	0	〃
25	福島商業高等学校通学定期補助金	228	0	0	0	0	0	〃
26	友好町村交流事業助成金	1,000	0	0	0	0	0	〃
27	福島町就学指導委員会助成金	34	0	0	0	0	0	〃
28	渡島地区予選会助成金	100	0	0	0	0	0	〃
29	私立幼稚園管理運営費補助金	500	0	0	0	0	0	〃
31	町ＰＴＡ連合会助成金	267	0	0	0	0	0	〃
32	町文化団体協議会助成金	81	0	0	0	0	0	〃
33	町子ども会育成連絡協議会助成金	68	0	0	0	0	0	〃
34	文化祭実行委員会助成金	90	0	0	0	0	0	〃
35	成人式実行委員会助成金	140	0	0	0	0	0	〃
36	【町指定文化財】松前神楽保存会助成金	71	0	0	0	0	0	〃
38	【町指定文化財】白符荒馬踊保存会助成金	36	0	0	0	0	0	〃
39	町体育指導委員協議会助成金	35	0	0	0	0	0	〃
40	町体育協会助成金	435	0	0	0	0	0	〃
41	町少年体育連盟助成金	220	0	0	0	0	0	〃
42	南北海道駅伝競走大会助成金	858	0	0	0	0	0	〃
	計	9,300	0	0	0	0	0	〃

福島町まちづくり推進会議委員会
経 済 福 祉 部 会 報 告 書

平成２１年１０月３０日

福島町まちづくり推進会議委員会　様

福島町まちづくり推進会議委員会
経済福祉部会長　　中　塚　徹　朗

福島町行財政推進プラン（後期：２２年度～２６年度）における、町財政の健全化のため、現在の事務事業、公共施設の維持運営、団体等への補助金等のあり方を含めて検討を重ね、それぞれの項目ごとに導かれた検討結果を、次のとおり取りまとめましたので報告します。

記

１．検討結果等　　別紙のとおり

福島町まちづくり推進会議経済福祉部会報告書

福島町まちづくり行財政推進プラン（平成 22 年度～平成 26 年度）における町財政の健全化のため、現在の事務事業、公共施設の維持運営、団体等への補助金等について検討を重ね、それぞれの項目ごとの検討結果は次のとおりであります。

記

１、専門部会の開催経過について

開催回数・年月日	内　　容　・　出席人数
第１回（平成 21 年 5 月 27 日）	事務事業、公共施設の管理運営等の方向性等を検討（7 名出席）
第２回（平成 21 年 6 月 24 日）	事務事業、公共施設の管理運営等の方向性等を検討（7 名出席）
第３回（平成 21 年 7 月 9 日）	事務事業、公共施設の管理運営等の方向性等を検討（6 名出席）
第４回（平成 21 年 9 月 7 日）	事務事業、公共施設の管理運営等の方向性等を検討（7 名出席） した結果報告書の確認

２、事務事業、施設運営、補助金等について

事務事業等については、与えられた項目を１つずつ協議検討し、その方向性を「現状維持」「縮小」の区分に整理し、若干のコメントを付記したが、全体を通して現状維持となっており、各項目の予算は後段に記載しているので参照してください。

●現状維持と方向付けたもの（事務事業）

整理 No.	項　　目	コメント	備考
12	戦没者追悼式	当面は現状維持とする。	
13	敬老会	〃	
14	ふれあいスポーツ大会	〃	
15	児童遊具修繕	〃	
17	不燃ごみのリサイクル推進によるごみ減量化運動（渡島西部四町負担金の軽減）	〃	
20	寝たきり老人等介護手当支給事業	〃	
21	生きがいディサービス事業	〃	
22	ショートステイ事業	〃	
23	緊急通報体制等整備事業	〃	
24	予防接種事業	〃	

整理No.	項　　目	コメント	備考
25	エキノコックス症予防事業	〃	
26	妊婦一般健康診査	〃	
27	インフルエンザ予防接種	当面は現状維持とする。	
28	日曜当番医制度	〃	
29	健康診査・がん検診	〃	
30	骨粗しょう症検診	〃	
31	脳ドック検診	〃	
32	リハビリ教室（機能回復訓練）	〃	
33	肺炎球菌予防接種	〃	
34	ふくしま健康横綱応援プロジェクト事業	〃	
35	福祉医療システム事業	〃	
36	漁港監視委託事業	〃	
37	熊等による被害対策事業	〃	
38	鏡山公園土俵整備事業	〃	
39	千代の富士杯相撲大会	〃	
41	トンネルメモリアルパーク管理事務	活用方法について検討を要す。	
42	除排雪事業	当面は現状維持とする。	
43	河川清掃事業	〃	

●現状維持と方向付けたもの（施設管理）

整理No.	項　　目	コメント	備考
6	福島保育所運営事業	当面は現状維持とする。	
7	墓地公園等管理事業（供花・供物の持ち帰り）	〃	
8	火葬場運営事業	〃	
9	生活支援ハウス運営事業	〃	
10	温泉健康保養センター運営事業	〃	
11	吉岡漁村環境改善総合センター運営事業	〃	
12	福島漁村環境改善総合センター運営事業	〃	
13	みなと交流館管理運営事業	〃	

整理No.	項　　目	コメント	備考
14	活性化センター管理運営事業	当面は現状維持とする。	
15	森林公園管理運営事業	〃	
16	横綱記念館管理運営事業	〃	
17	特産品センター管理運営事業	〃	
18	青函トンネル記念館運営事業	〃	
19	新緑公園管理運営事業	〃	

●現状維持と方向付けたもの（補助金等）

整理No.	項　　目	コメント	備考
5	町社会福祉協議会補助金	当面は現状維持とする。	
6	民生委員協議会補助金	〃	
7	老人クラブ運営費補助金	〃	
8	ごみ減量化対策推進事業補助金	〃	
9	身体障害者福祉協会補助金	〃	
10	母子寡婦会補助金	〃	
11	心身障害児等通園補助金	〃	
12	町障害児施設利用者助成金	〃	
13	手をつなぐ親の会補助金	〃	
14	福島町水産加工組合振興協議会運営補助金	〃	
15	農村生活改善グループ助成金	〃	
16	町職業援護相談所補助金	〃	
17	街路灯設置補助金	〃	
18	街路灯電気料補助金	〃	

●縮小と方向付けたもの（事務事業）

整理No.	項　　目	コメント	備考
16	塵芥処理事業（収集業務、ごみ袋関係）	収集車の延命を検討する。また、 粗大ゴミの有料化を検討する。	
18	燃えるごみの減量化運動 （渡島広域連合負担金の軽減）	ゴミ処理量を減らす工夫を検討する。	

☆検討経過と年度別増減額について

◎21年度予算　　（千円）

事務事業	公共施設	補助金等	計	年度別増減額 H22	H23	H24	H25	H26
242,284	151,270	7,511	401,065	0	0	0	0	0

○事務事業一覧表

NO.	事務事業名	平成21年度(千円) 予算額	年度別増減額 H22	H23	H24	H25	H26	備　考
12	戦没者追悼式	263	0	0	0	0	0	当面は現状維持とする。
13	敬老会	1,044	0	0	0	0	0	〃
14	ふれあいスポーツ大会	209	0	0	0	0	0	〃
15	児童遊具修繕	100	0	0	0	0	0	〃
16	塵芥処理事業（収集業務、ごみ袋関係）	28,603	0	0	0	0	0	縮小→収集車の延命を検討
17	不燃ごみのリサイクル推進によるごみ減量化運動（渡島西部四	68,717	0	0	0	0	0	当面は現状維持とする。
18	燃えるごみの減量化運動（渡島広域連合負担金の軽減）	73,513	0	0	0	0	0	縮小→ごみ量を減らす工夫を検討
20	寝たきり老人等介護手当支給事業	1,260	0	0	0	0	0	当面は現状維持とする。
21	生きがいディサービス事業	7,260	0	0	0	0	0	〃
22	ショートステイ事業	825	0	0	0	0	0	〃
23	緊急通報体制等整備事業	145	0	0	0	0	0	〃
24	予防接種事業	2,298	0	0	0	0	0	〃
25	エキノコックス症予防事業	132	0	0	0	0	0	〃
26	妊婦一般健康診査	1,632	0	0	0	0	0	〃
27	インフルエンザ予防接種	800	0	0	0	0	0	〃
28	日曜当番医制度	480	0	0	0	0	0	〃
29	健康診査・がん検診	7,070	0	0	0	0	0	〃
30	骨粗しょう症検診	170	0	0	0	0	0	〃
31	脳ドック検診	960	0	0	0	0	0	〃
32	リハビリ教室（機能回復訓練）	541	0	0	0	0	0	〃
33	肺炎球菌予防接種	2,800	0	0	0	0	0	〃
34	ふくしま健康横綱応援プロジェクト事業	9,705	0	0	0	0	0	〃
35	福祉医療システム事業	1,166	0	0	0	0	0	〃
36	漁港監視委託事業	760	0	0	0	0	0	〃
37	熊等による被害対策事業	500	0	0	0	0	0	〃
38	鏡山公園土俵整備事業	205	0	0	0	0	0	〃
39	千代の富士杯相撲大会	284	0	0	0	0	0	〃
41	トンネルメモリアルパーク管理事務	644	0	0	0	0	0	現行どおり→活用方法の検討を
42	除排雪事業	30,000	0	0	0	0	0	当面は現状維持とする。
43	河川清掃事業	198	0	0	0	0	0	〃
	計	242,284	0	0	0	0	0	

○公共施設等の管理運営事業一覧表

		平成21年度(千円)	年度別増減額					
NO.	事務事業名	予算額	H22	H23	H24	H25	H26	備　考
6	福島保育所運営事業	54,209	0	0	0	0	0	当面は現状維持とする。
7	墓地公園等管理事業（供花・供物の持ち帰り）	557	0	0	0	0	0	〃
8	火葬場運営事業	4,218	0	0	0	0	0	〃
9	生活支援ハウス運営事業	16,086	0	0	0	0	0	〃
10	温泉健康保養センター運営事業	41,574	0	0	0	0	0	〃
11	吉岡漁村環境改善総合センター運営事業	2,348	0	0	0	0	0	〃
12	福島漁村環境改善総合センター運営事業	527	0	0	0	0	0	〃
13	みなと交流館管理運営事業	600	0	0	0	0	0	〃
14	活性化センター管理運営事業	723	0	0	0	0	0	〃
15	森林公園管理運営事業	1,491	0	0	0	0	0	〃
16	横綱記念館管理運営事業	10,145	0	0	0	0	0	〃
17	特産品センター管理運営事業	1,917	0	0	0	0	0	〃
18	青函トンネル記念館運営事業	10,121	0	0	0	0	0	〃
19	新緑公園管理運営事業	6,754	0	0	0	0	0	〃
	計	151,270	0	0	0	0	0	

○各団体の補助金・助成金一覧表

		平成21年度(千円)	年度別増減額					
NO.	事務事業名	予算額	H22	H23	H24	H25	H26	備　考
5	町社会福祉協議会補助金	1,240	0	0	0	0	0	当面は現状維持とする。
6	民生委員協議会補助金	1,895	0	0	0	0	0	〃
7	老人クラブ運営費補助金	1,160	0	0	0	0	0	〃
8	ごみ減量化対策推進事業補助金	250	0	0	0	0	0	〃
9	身体障害者福祉協会補助金	64	0	0	0	0	0	〃
10	母子寡婦会補助金	61	0	0	0	0	0	〃
11	心身障害児等通園補助金	88	0	0	0	0	0	〃
12	町障害児施設利用者助成金	214	0	0	0	0	0	〃
13	手をつなぐ親の会補助金	39	0	0	0	0	0	〃
14	福島町水産加工組合振興協議会運営補助金	360	0	0	0	0	0	〃
15	農村生活改善グループ助成金	30	0	0	0	0	0	〃
16	町職業援護相談所補助金	380	0	0	0	0	0	〃
17	街路灯設置補助金	30	0	0	0	0	0	〃
18	街路灯電気料補助金	1,700	0	0	0	0	0	〃
	計	7,511	0	0	0	0	0	〃